

■ Java プログラムで使用する API の説明

java.util

public interface Map<K, V>

型 K のキーに型 V の値を対応付けて保持するインタフェースを提供する。各キーは、一つの値としか対応付けられない。

メソッド

public V get(Object key)

指定されたキーに対応付けられた値を得る。

引数： key — キー

戻り値： 指定されたキーに対応付けられた型 V の値

このキーと値の対応付けがなければ null

public V put(K key, V value)

指定されたキーに指定された値を対応付けて登録する。このキーが既にほかの値と対応付けられていれば、その値は指定された値に置き換えられる。

引数： key — キー

value — 値

戻り値： 指定されたキーに対応付けられていた型 V の古い値

このキーと値の対応付けがなければ null

java.util

public class HashMap<K, V>

インタフェース Map のハッシュを用いた実装である。

コンストラクタ

public HashMap()

空の HashMap を作る。

java.util

public class Stack<E>

クラス Stack は、オブジェクトの後入れ先出し (LIFO) スタックを表す。

コンストラクタ

public Stack()

空のスタックを生成する。

メソッド

public E push(E item)

引数で指定されたオブジェクトをスタックの先頭にプッシュする。

引数: item — スタックにプッシュするオブジェクト

戻り値: 引数で指定されたオブジェクト

public E pop()

スタックの先頭のオブジェクトをスタックから削除し、そのオブジェクトを返す。

戻り値: スタックの先頭から取り出したオブジェクト

public E peek()

スタックの先頭のオブジェクトをスタックから削除せずに返す。

戻り値: スタックの先頭のオブジェクト

public void clear()

スタックの全オブジェクトをスタックから削除し、スタックを空にする。